

気候変動に具体的な対応を

13 気候変動に
具体的な対策を



じぞくかのう じぞくかのう
持続可能な開発(SD)と持続可能な開発のための教育(ESD)年表

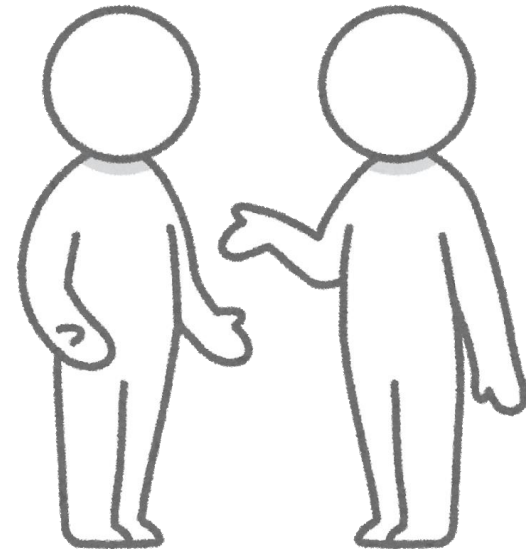
出典
 「SDGs 2030年までのゴールより」

	「地球環境問題」の動き	「持続可能な開発のための教育」の動き
1972	ローマクラブが「成長の限界」発表	
	国連人間環境会議開催(ストックホルム)「人間環境宣言」採択、国連環境計画(UNEP)が設立	
1980	国連環境計画(UNEP)・国際自然保護連合(IUCN)・世界自然保護基金(WWF)が提出した「世界自然保全戦略」で、「持続可能な開発」の概念が初めて示される	
1987	オゾン層破壊物質に関するモントリオール議定書採択	環境と開発に関する国際連合会議で、議長を務めたグロ・ハーレム・ブルントラントによって「持続可能な開発(Sustainable Development)」という表現が用いられ、この概念が広く理解される
	ブルントラント委員会が「持続可能な開発」を提言	
国連環境開発会議(地球サミット)開催 (リオデジャネイロ)		
1992	リオ宣言・アジェンダ21・生物多様性条約・気候変動枠組み条約採択	「持続可能な開発」の実現に向けた話し合いがもたれ、国際的行動指針「アジェンダ21」に、教育の重要性が盛り込まれる
2000	バイオセーフティに関するカルタヘナ議定書採択	国連ミレニアム・サミットで、「国連ミレニアム宣言」を採択。また、1990年代に開催された主要な国際会議やサミットで採択された国際開発目標を統合し、ひとつの共通の枠組みとして「ミレニアム開発目標(Millennium Development Goals: MDGs)」がまとめられる

	持続可能な開発に関する世界首脳会議(環境開発サミット)開催 (ヨハネスブルグ)	
2002	環境開発サミットで日本政府およびNGOが「持続可能な開発のための教育」(ESD)を提唱	
2002	第57回国連総会本会議で、2005年から2014年までの10年間を「国連持続可能な開発のための教育の10年 (UNDESD、国連ESDの10年)」とすることを採択。ユネスコがESDの主導機関に指名される	
2003	ヨーロッパで記録的な熱波	ユネスコが「ESDの10年国際実施計画2005～2014」の草案を発表
	イラク戦争 劣化ウラン弾が使用される	
2004	環境活動家ワンガリ・マータイ ノーベル平和賞受賞	「持続可能な開発のための教育の10年」を採択
2005	京都議定書発効(2008年～2012年までが第一約束期間)	「国連持続可能な開発のための教育(ESD)世界会議」を開催、「ボン宣言」を採択
	国連持続可能な開発会議(リオ+20)開催 (リオデジャネイロ)	
2012	「我々の求める未来」を採択	宣言文の中で、2014年以降もESDを推進することが盛り込まれる
2013	フィリピンが台風で大きな被害を受ける	第37回ユネスコ総会において、「国連持続可能な開発のための教育の10年」(2005～2014年)の後継プログラムとして「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)」を採択
	IPCCが第5次報告書 第1作業部会報告書を発表	
2014	IUCNがニホンウナギ、太平洋クロマグロを絶滅危惧種に指定	国連総会のオープン・ワーキング・グループがミレニアム開発目標(MDGs)を引き継ぐものとして「持続可能な開発目標」(SDGs)を提案
	IPCCが第5次報告書 第2・3作業部会報告書を発表	
2015	“スーパー台風”がバヌアツを直撃	国連サミットにおいて「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を採択
	COP21開催 パリ協定を採択	
2016	2016年1月1日、「持続可能な開発目標(SDGs)」が正式に発効	

SDGsの前に発効された京都議定書とは

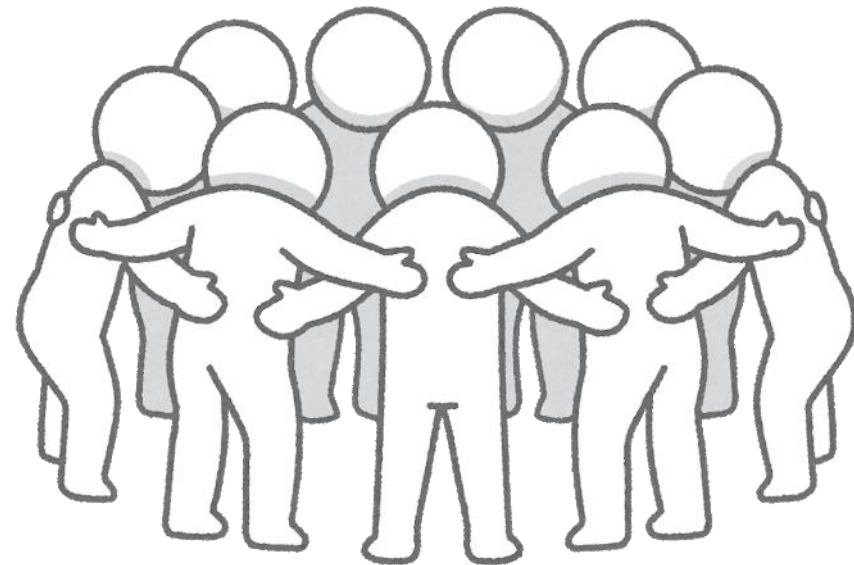
- 平成9年に京都で開催された地球温暖化防止京都会議（COP3）には、世界各国から多くの関係者が参加し、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素(亜酸化窒素)、ハイドロフルオロカーボン(HFC)、パーフルオロカーボン(PFC)及び六ふっ化硫黄(SF6)の6種類の温室効果ガスについて、先進国の排出削減について法的拘束力のある数値目標などを定めた文書が、京都の名を冠した「京都議定書」として採択された。



パリ協定

- パリ協定とは、2020年以降の**気候変動問題**に関する、国際的な枠組み
- パリ協定は、2015年にパリで開かれた、温室効果ガス削減に関する国際的取り決めを話し合う「**国連気候変動枠組条約締約国会議(通称COP)**」で合意された

パリ協定は京都議定書の跡継



気候変動によって
引き起こされる
自然現象

気温が上がり南極などの氷が溶けて海面上昇する原因

地球温暖化により山岳氷河や南極、グリーンランドなど陸上の氷河や氷床が融けて海へと流れ込むことや、海水が温まって膨張したりすることです。

1901年から2010年の110年の間で海面は約19センチメートル上昇しており、21世紀中には約82センチメートル海面が上昇すると予測がされています。

極端に暑くなり豪雨がおきる原因

地球温暖化により気温が上昇し、大気中の水蒸気が増えると、雨をもたらす低気圧などの強さが変わらなかったとしても、水蒸気が多い分だけ割増で雨が降るから豪雨が起きる。

なぜ高潮が起きる??

高潮は、台風が接近する8～9月に発生しやすいと言われています。それは潮位がもっとも高くなるからです。

さらに、海水温が高くなり海水が膨張したり、ほかの季節に比べて台風が接近するため日本付近の気圧が低くなり、海水が吸い上げられます。

台風が近づいてくると、気圧の降下によって、海面の吸い上げ効果と風による吹き寄せ効果が引き起こされます。こうして高潮が発生しやすくなります。

気候変動への各国の対策

中国

気候変動問題については、中国政府の公式目標として、2014年11月に開催されたAPEC首脳会議において、温室効果ガス排出量を2030年前後に減少に転じさせるなどの方針が示された。その後、2015年11月に開催された国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)では、2020年までに単位GDP当り排出量を40～50%削減など、さらに森林面積を増加させることなどを国際社会に表明し、そのため約4,000億円規模の「中国気候変動南南協力基金」を設立するとした。

カナダ

カナダの京都議定書による温室効果ガス(GHG)削減目標は、2008～2012年に1990年比6%減と設定されたが、2007年、政府は達成不可能との見通しを公表した。カナダ環境省は2015年5月15日、2030年までに2005年の水準を30%下回る温室効果ガス(GHG)排出量を削減する予定であることを発表した

地球温暖化対策

- 太陽光発電などのクリーンエネルギーを積極的に使う。
- LED照明に変える。
- 再生可能エネルギーの積極的な利用。
- 二酸化炭素排出量の少ない商品を選ぶ。

電気に頼らない 暑さ対策

- 帽子を被る
- 薄着
- 扇風機
- 水まきをする
- 日傘





電気に頼らない 寒さ対策

- 厚着をする
- ストーブ
- こたつ
- マフラー、手袋
- 上着を切る

考察・感想

世界ではいろいろな対策をとっていることがわかった。

→ **身近なところでできることがあったら実践する**

現実的な話、国が出している対策を実施している人は少ないのではないかと思う。それは、実際日本での気温は上がり続けていて、

今年の**最高気温（8月28日時点）40.5℃**

という記録を更新している事実があるからだ。

生きやすい世界にするためにも積極的に
自分たちに出来る対策を実施していく
べきだと私たちは考えます

Fin